

第 52 回 U-40 Club ～座談会～

開催日

2025 年 6 月 23 日

テーマ

未来の外科医へ、今、伝えたいこと ～働く外科医ママ・パパの座談会～

司会

小泉 亘（国際親善総合病院）

Discussants

司会 他 2 名

内容

本セッションは、日本消化器外科学会のアンケートにおいて、「自分の子どもに外科医の道を勧める」と答えた割合がわずか 14%にとどまったという衝撃的な結果を受け、変革に取り組むシニア世代だけでなく、若手世代からも変革を後押しする議論の場をつくることを目的に企画しました。

事前に提示した以下の 4 つの論点に沿ってディスカッションを行いました。

- ① 子どもに外科医の道を勧めますか？
- ② 勧められるとすれば、労働環境や賃金などの課題にどう反論しますか？
- ③ 勧められない場合、どのような変化があれば勧められますか？
- ④ ママ・パパが外科医であることは、子どもにどんな影響を与えていると思いますか？

司会者を含む登壇者 3 名全員が、「現状では子どもに外科医を勧められない」と回答しました。

雑務の多さや突発的な緊急手術・呼び出しなどが、家庭との両立を妨げていることが主な理由として挙げられました。

一方で、「手術は楽しい」との思いは共通しており、その魅力を若い世代に伝え、仲間として迎え入れたいという熱意も一致していました。

また、外科医であることに誇りを感じているのは、私たち自身だけでなく、家族も同様であると感じています。

業務時間の削減だけでなく、消化器外科医としての誇りを保ちながら、性別やライフステージにかかわらず、持続可能なキャリアを築くには何が必要か――。

「子どもとの対話」をきっかけに、今後もこうしたテーマを深く掘り下げる機会としたいと考えています。

写真

